

サービス見込量の進捗管理のための作業シート【多可町】

計画値：令和５年度、実績値：令和６年３月末

ステップ１：認定率の比較

(%)

	計画値	実績値	差異	対計画比	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率	20.7%	18.7%	2.0%	90.2%	認定者数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症の始まった令和２年以降減少に転じている。コロナウイルスが５類感染症に移行された令和５年５月以降再び増加傾向にあるが、５年度の実績値としては計画値を下回っている。

ステップ２：受給率の比較

(%)

サービス名		計画値	実績値	差異	対計画比	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	1.8%	1.3%	0.5%	74.0%	令和３年度以降減少傾向にある。人手不足により依頼自体が介護保険開始当時と比べ減少しているのではないかと考えられる。
	訪問入浴介護	0.0%	0.0%	0.0%	83.6%	
	訪問看護	2.0%	1.6%	0.4%	80.6%	
	訪問リハビリテーション	0.3%	0.2%	0.0%	86.7%	
	居宅療養管理指導	0.7%	0.5%	0.2%	66.9%	令和３年度以降、実績値は計画値を下回っているが、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなるにつれ、実績値は増加傾向にある。
	通所介護	4.4%	4.1%	0.3%	94.1%	
	通所リハビリテーション	4.6%	3.3%	1.3%	72.4%	令和元年度までは利用者の増加が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２～４年度の利用者は減少した。感染症の５類への移行、認定者数やリハビリニーズの増加に伴い、令和５年度以降再び増加傾向にある。
	短期入所生活介護	2.1%	1.8%	0.3%	85.6%	
	短期入所療養介護（老健）	0.3%	0.1%	0.2%	41.8%	令和３年度に町内の介護老人保健施設の一部が介護医療院に転換されたため、短期入所療養介護（老健）も利用者数が減少している。
	短期入所療養介護（病院等）	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	短期入所療養介護（介護医療院）	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	福祉用具貸与	7.9%	7.4%	0.6%	92.9%	
	特定施設入居者生活介護	0.7%	0.6%	0.1%	80.0%	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0.3%	0.0%	0.3%	4.0%	サービス提供事業所が想定どおり開設されず、町外のサービス付き高齢者向け住宅に居住されている方の市町間同意による利用のみにとどまっている。
	夜間対応型訪問介護	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	認知症対応型通所介護	0.5%	0.2%	0.3%	49.3%	平成30年度から令和２年度にかけて利用者が増加していたが、令和３～５年度にかけては利用者が減少しており、令和３年度以降の実績値は計画値を下回っている。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響である可能性があると考えられる。
	小規模多機能居宅介護	0.8%	0.7%	0.1%	91.8%	
	認知症対応型共同生活介護	0.7%	0.7%	0.0%	97.4%	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	地域密着型介護老人福祉施設	0.3%	0.3%	0.0%	100.4%	
	看護小規模多機能型居宅介護	0.0%	0.0%	0.0%	—	
	地域密着型通所介護	0.6%	0.6%	0.0%	103.2%	
施設サービス	介護老人福祉施設	3.0%	2.8%	0.1%	95.6%	
	介護老人保健施設	1.1%	0.5%	0.6%	49.8%	令和３年度に町内の介護老人保健施設の一部が介護医療院に転換されたため減少している。
	介護医療院	0.1%	0.5%	-0.4%	625.8%	令和３年度に町内の介護老人保健施設の一部が介護医療院に転換されたため増加している。
	介護療養型医療施設	0.0%	0.0%	0.0%	—	町外の介護療養型医療施設から介護医療院への転換が進まなかったことからサービスの利用が生じた。 ※令和５年６月に介護医療院に転換。
介護予防支援・居宅介護支援		12.1%	10.5%	1.6%	86.6%	

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円)

サービス名		計画値	実績値	差異	対計画比	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	43,906	45,644	-1,737	104.0%	
	訪問入浴介護	62,611	62,389	223	99.6%	
	訪問看護	36,127	33,921	2,206	93.9%	
	訪問リハビリテーション	26,092	29,917	-3,825	114.7%	
	居宅療養管理指導	9,191	10,091	-900	109.8%	
	通所介護	80,505	77,885	2,620	96.7%	
	通所リハビリテーション	47,354	49,621	-2,267	104.8%	
	短期入所生活介護	126,400	117,318	9,082	92.8%	
	短期入所療養介護（老健）	102,851	122,177	-19,326	118.8%	
	短期入所療養介護（病院等）	—	—	—	—	
	短期入所療養介護（介護医療院）	—	—	—	—	
	福祉用具貸与	10,174	10,948	-774	107.6%	
	特定施設入居者生活介護	162,505	153,953	8,551	94.7%	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	170,943	153,495	17,448	89.8%	
	夜間対応型訪問介護	—	—	—	—	
	認知症対応型通所介護	95,993	103,920	-7,927	108.3%	
	小規模多機能居宅介護	168,023	140,683	27,340	83.7%	
	認知症対応型共同生活介護	258,215	262,830	-4,615	101.8%	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	
	地域密着型介護老人福祉施設	306,204	321,162	-14,957	104.9%	
	看護小規模多機能型居宅介護	—	—	—	—	
	地域密着型通所介護	71,956	111,230	-39,274	154.6%	平成28年度から創設されたサービスであり、利用者は年々増加している。今後も認定者数の増加に伴い、利用者が増えると考えられるため、計画値の見直しが必要。
施設サービス	介護老人福祉施設	258,519	257,036	1,483	99.4%	
	介護老人保健施設	265,725	265,111	614	99.8%	
	介護医療院	386,861	308,242	78,619	79.7%	令和4年2月に町内の介護老人保健施設が介護医療院に転換した。計画値と実績値に差異が生じたため、計画値の見直しが必要と考えられる。
	介護療養型医療施設	0	328,758	-328,758	—	町外の介護療養型医療施設から介護医療院への転換が進まなかったことからサービスの利用が生じた。※令和5年6月に介護医療院に転換。
介護予防支援・居宅介護支援		13,470	13,559	-89	100.7%	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題

定期巡回・随時対応型について、指定事業者の公募をかけながらも参入がなかった。参入しない理由を参入を期待できる法人等に確認したところ、訪問介護員の確保が難しいとの意見が多かった。訪問が頻回に必要なケースが少ない、要介護3以上になるとロングショートを利用するケースが多いなど需要を疑問視する意見もあった。サービスの必要性を検討するとともに、訪問介護員を含む人材確保の方策について検討する必要がある。

居宅療養管理指導、通所リハビリテーション、短期入所療養介護（老健）、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、介護老人保健施設及び介護医療院については、計画値と実績値の間に差異が生じていることから、差異の要因を可能な限り検討し、必要に応じて取組等を検討するほか、計画値の見直しを行う必要がある。

介護療養型医療施設については、町外の1施設が令和5年6月に介護医療院に転換されているため、計画値の見直しを検討する必要はないものと考えられる。